

時事新報

地方官の更迭

昨年來門脇の更迭と共に府縣知事の間に轉免の事法本少なからず既に今度も二三大臣の轉任より其餘波は隨て政府新に及び次第に後進政治家の道路を開くものに似たり。元来今之府縣知事は明治の新政府に始めて其身を空めたる者に非ずして寧ろ新政府を作るに勧め創業の際は内閣諸大臣と相提携して維新の改革には就れ多少なりて功勞あるより取も直す功に頤ゆる。今の地位にして其人を問へば寧ろ守成よりも創業に慣れた者多しと謂はざるを得ず然るに武を以て業を創ら文を以て成る守るは古今の常にして現政府も此二十餘年間に綿密なる新法を確立して武器の代りに法律を利用する所は殆ど至れり盡せりとも語り可き程みて今之府縣知事は二十餘年前無法の下に歸らき二十四年後に有法の民を支撑するものなれば假令へ其經験と老練とは後進の政治家に優る所あるも艱苦立身の昔時と安心立命の今日とは時勢の變遷、大に其趣を異にしたるものあり左れば今日地方の實際を觀るに治者被治者の間に法律上の行進ひは殆んど見る眼なく甚きは知事と相手取れば一方は其怒るを見て時勢に通せざる偏屈論ありとて窮に笑ふ者あり蓋し老論少論の相分る所にして必ずしも其心底に害惡の毒氣あるに非されども其色の前

に於て説教の妙技に及ぶ事はあるば毎度我輩の耳にする所にして治員の爲には誠に苦々敷次第あれ共簡より輕ひに足らず殊に近年政黨政治の續々勃起するに從ひ方に徒黨の沙汰は以ての外の舉動なりとて怒る者あれば一方は其怒るを見て時勢に通せざる偏屈論ありとて窮に笑ふ者あり蓋し老論少論の相分る所にして必ずしも其心底に害惡の毒氣あるに非されども其色の前

に於て説教の妙技に及ぶ事はあるば毎度我輩の耳にする所にして治員の爲には誠に苦々敷次第あれ共簡より輕ひに足らず殊に近年政黨政治の續々勃起するに從ひ

に於て説教の妙技に及ぶ事はあるば毎度我輩の耳にする所にして治員の爲には誠に苦々敷次第あれ共簡より

に於て説教の妙技に及ぶ事はあるば毎度我輩の耳にする所にして治員の爲には誠に苦々敷次第あれ共簡より

に於て説教の妙技に及ぶ事はあるば毎度我輩の耳にする所にして治員の爲には誠に苦々敷次第あれ共簡より

○東園仲栄 以御用に付一昨廿二日日光地方へ出張セ

○故招開守一馬の葬儀 同氏の葬儀は兼て記載せる如

く一昨廿二日上野寛永寺に於て執行したり總て古式の

行列にて當日正午十二時淺草通今戸町四番地の自邸出

棺山ノ宿より同區廣小路に出で誓願寺裏門より板塀町

を車坂に出て左折して上野廣小路に不忍辨天前を経て

谷中清水門に向ひ香花院に着せしは殆ど午後二時卅分

頃なりき。諸今回之葬儀は氏が同寺院に特別の緣故を有

せしとかにて舊幕時代に於ける二十萬石以上の諸侯に

限れる格式に由りて其葬典を執行ひ一山の僧侶總て出

場し導師寛永寺住職權大僧正宮部亮常氏が法を修し丁

つて會葬者の一人谷千城氏比照前又過み弔辭を朗讀せ

り夫より順次焼香を終り同寺の墓所に運葬せしは已に

夕陽の頃ありし當日の會葬者は曾我祐輔、南部利恭、前

船寄、芳川顯正、小松清治、谷千城氏等朝野の紳士其他

氏に交説ある者無慮三千名に達し七八丁の間は行列の

車馬行きもちらか山内の休憩所は中堂東漸院大學林観

永寺別院等を以て之れに充たるが其樂也も一方あらさ

りしが云ふ。

○日本經濟會例會 四會は一昨夜例會を坂本町銀行集

會所に開いたるが會する者數十名席上佐野常樹氏の印

度商況の演説あり當日より同會泰源、鎌田榮吉等の諸

氏會員と爲りたるよし

○教育會の商議員會 東京府教育會は一昨廿二日東京

府尋常中學校に於て商議員會を開き全國教育者大集會

へ東京府教育會代表者として出席せしむべき委員を撰

舉したるに小谷茂實、永江正直、勝浦耕雄の三氏當選し

次で同會參事局を撰舉したるに元田直、宇川盛三郎、大

東重善の三氏當選し又同會商議員會細則調査委員を撰

尙ほ侯爵須賀茂詔氏を總裁に撰びたり因に記す同會

は來る六月一日芝離宮に各府縣より出京したる教育家

六百餘名を招待するよし

○一小鳳、國會議場を騒がす 我國にて所謂壯士ある

者が縣會議場あとを騒がせし話は屢々聞く所あるが近

頃は少して次官と通るが如き所謂亞流の人物を擧げて

人間が地方官に對するの心事を一新せしめ散して之を

據るゝに至る。其實は左迄難きにあらず例へば近來内

體質の更迭が如き前之慣行に拘らず維新功勞の有無を

論じて之に代ふるに純然たる明治年間の後進政治家を

以てし治者被治者の間に色を異にするの憂と除き以て

人間が地方官に對するの心事を一新せしめ散して之を

據るゝに至る。其實は左迄難きにあらず例へば近來内

體質の更迭が如き前之慣行に拘らず維新功勞の有無を

論じて之に代ふるに純然たる明治年間の後進政治家を

最も入らるるにやと同ひけるゆゑ案内者は少し不審に思ひながらイヤ切符も何もいらぬ勝手よく經營すべしといへば左ならば四十七七の遺物は何所に陳列しめるやと眞面目に問はれて探ては轍豊と轍豊寺と思ひちがへて參詣に來りしものあるべしと思ひ懸念に歌へ贈したるに田舎者も嘗き出しして孫共の止るも聞かず老人の麻衣に不思議な土地をブフ付き廻るより毎度斯様の目に出来たり順次焼香を終り同寺の墓所に運葬せしは已に匪さん達も悉く洋服を着け居るものと思ひしらんとなり

は流石日本の大都會として泉岳寺の本堂も煙草作りにあり

せしとかにて舊幕時代に於ける二十萬石以上の諸侯に

限れる格式に由りて其葬典を執行ひ一山の僧侶總て出

場し導師寛永寺住職權大僧正宮部亮常氏が法を修し丁

つて會葬者の一人谷千城氏比照前又過み弔辭を朗讀せ

り夫より順次焼香を終り同寺の墓所に運葬せしは已に

夕陽の頃ありし當日の會葬者は曾我祐輔、南部利恭、前

船寄、芳川顯正、小松清治、谷千城氏等朝野の紳士其他

氏に交説ある者無慮三千名に達し七八丁の間は行列の

車馬行きもちらか山内の休憩所は中堂東漸院大學林観

永寺別院等を以て之れに充たるが其樂也も一方あらさ

りしが云ふ。

○日本經濟會例會 四會は一昨夜例會を坂本町銀行集

會所に開いたるが會する者數十名席上佐野常樹氏の印

度商況の演説あり當日より同會泰源、鎌田榮吉等の諸

氏會員と爲りたるよし

○教育會の商議員會 東京府教育會は一昨廿二日東京

府尋常中學校に於て商議員會を開き全國教育者大集會

へ東京府教育會代表者として出席せしむべき委員を撰

舉したるに小谷茂實、永江正直、勝浦耕雄の三氏當選し

次で同會參事局を撰舉したるに元田直、宇川盛三郎、大

東重善の三氏當選し又同會商議員會細則調査委員を撰

尙ほ侯爵須賀茂詔氏を總裁に撰びたり因に記す同會

は來る六月一日芝離宮に各府縣より出京したる教育家

六百餘名を招待するよし

○一小鳳、國會議場を騒がす 我國にて所謂壯士ある

者が縣會議場あとを騒がせし話は屢々聞く所あるが近

頃は少して次官と通るが如き所謂亞流の人物を擧げて

人間が地方官に對するの心事を一新せしめ散して之を

據るゝに至る。其實は左迄難きにあらず例へば近來内

體質の更迭が如き前之慣行に拘らず維新功勞の有無を

論じて之に代ふるに純然たる明治年間の後進政治家を

以てし治者被治者の間に色を異にするの憂と除き以て

人間が地方官に對するの心事を一新せしめ散して之を

據るゝに至る。其實は左迄難きにあらず例へば近來内

體質の更迭が如き前之慣行に拘らず維新功勞の有無を

論じて之に代ふるに純然たる明治年間の後進政治家を

以てし治者被治者の間に色を異にするの憂と除き以て